

【学習指導要領 前文より】 これからの学校
一人一人の生徒が、自分のよさや可能性を認識す
るとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重
し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を
乗り越え、豊かな人生を切り開き、持続可能な社会の
創り手となることができるようにする

【福島県教育委員会 学びの変革プラン】

- 個別最適化された学び
ふくしま学力調査の分析、ICT活用
- 協働的な学び
学校と地域の連携・協働
- 探究的な学び
SDGsの視点を活用したプロジェクト学習

【喜多方市の学校教育】

【目標】 全ての子どもの「生きる力」を育む

【方針】 幼児教育との連携を図りながら、全ての子ども一人一人の
夢、希望、目標等を踏まえ、可能性やよさ、持ち味、特徴を
引き出し、生かし、伸ばす教育を行います。

喜多方市立第一中学校

令和7年(2025年)度

学校経営・運営ビジョン

教育目標

地域と連携し地域に貢献する生徒の育成

目指す生徒の姿

真 … 真理の追究に向かう生徒
善 … 善良なる行動ができる生徒
美 … 美しい心をもつ生徒

【地域・保護者の願い】

- 主体的に学習に取り組み、将来の夢を持つ子ども
- 善悪の判断ができ、他人を思いやれる子ども
- 自分が生まれた地域に誇りを持つ子ども

【目指す学校の姿】

- 生徒の夢・願いを後押しする学校
- いきいきと活動する楽しい学校
- 地域から応援され誇りに思われる学校

【目指す教職員の姿】

- 生徒の成長に喜びを感じ、ともに成長する教職員
- 常に「そろえること」「つなぐこと」「まわすこと」を意識・実践し、
組織力を生かして教育活動に取り組む教職員
- 「お陰さま(感謝)」「お世話さま(信頼)」「お互いさま(協働)」を
大切にする教職員

○具体的実践事項

手段と評価（□）

※下線は本年度の重点

○主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善 ～「授業スタンダード」をもとにした授業の実践を通して～

- めあての明示と、まとめ・振り返りの時間の確保
- 考える時間と 学び合いの時間の確保
(市推進 学びの共同体の実践)
- 各種学力調査の分析と活用
(みる・きく・つなぐ授業への転換)

○学びの習慣化の育成（自己マネジメント力の育成） ～「家庭学習スタンダード」をもとにした連携を通して～

- 学習スタイルを意識し調整する力を育成する指導
(現職教育での研究を活かして)
- 授業と家庭学習とのリンク
- 各種検定への積極的な挑戦

○読解力、探究力、発信力の育成

～社会に開かれた教育課程とカリキュラムマネジメントを通して～

- 総合的な学習の時間の充実
- 地域人材、機関との連携
- 小・中・高との連携強化、コミュニティスクールの推進

○道徳教育の充実

～考え、議論する道徳科の授業を要に～

- 体験を伴った道徳教育
- 人権教育、命の大切さを学ぶ授業の実施
- 教育活動をつなぎ、補充・深化・統合

○生徒指導の充実

～居場所づくりと絆づくりを通して～

～【一中プライド】の徹底～

「いつも心にルールとマナーを」
「当たり前のことを当たり前に」

- 不登校対応、いじめを許さない風土づくり
- 特別支援教育、教育相談の充実と役割連携
(SC・SSWとの連携、主任児童委員の定期来校)
- メディアリテラシーの育成 (PTAとの連携)

○勤労・体験、ボランティア活動の充実

～生徒主体の活動を通して～

- アントレプレナーシップ（起業家精神）教育や
職場体験学習とそのまとめと発信活動の充実
- キャリアパスポートの活用
- 生徒会活動の活性化

○安心・安全の維持、管理

～当事者意識を育てる学びと体験を通して～

- 定期的な点検・評価と対応マニュアルの更新
- 危機管理・回避能力の育成と実践的訓練
- 地域と連携した防災・減災教育
(地域合同防災訓練の継続と発信活動の充実)

○メンタルヘルス、健康増進、体力向上の推進

～自分手帳の有効活用を通して～

- メンタルヘルス教育の充実によるレジリエンス向上
(学区学校保健委員会での連携)
- 定期的な健康診断と保健指導
- 部活動や授業での運動量の確保

○食育の充実

～地域・家庭との連携を通して～

- 郷土料理学習や調理実習等の教科横断的な食育推進
- 学校給食の教材化による食に関する指導の充実
- アレルギー事故防止や対応力の育成